

9 土屋における子供の遊び・ 手伝いの今昔

1 昔の子供の生活

土屋地区は、むかし純農村地帯で、各家の職業のほとんどが農業でした。道路も狭く、広い道路でも9尺（2.7m）で、あとは6尺（1.8m）・4尺（1.2m）・3尺（0.9m）幅の道でした。

生活のほとんどが人手にたよる時代で、農作業はすべて人の力で行われていました。

昭和10年代（1935）に農耕馬を飼っている家は珍しい時代でした。

昭和10年代半ばに、農機具の改良が行われて、それまで人力による「足ふみ脱穀機」であったものが、発動機の登場で、動力脱穀機に変わっていき、その後電力によるモーターが普及してきました。

昭和10年代後半には、農家では農耕牛を飼うようになりました。

農業機械の進歩は、実にめざましいものがあります。耕うん機・トラクター・田植機・稲刈り機・コンバイン（脱穀機）・乾燥機・籾摺り機・軽トラック・トラック・管理機・草刈り機・搾乳機等々数え上げればきりがありません。

農業は、昔から人手がいるといわれ、家族総動員で農作業を営んできました。幼い子供までも、畑や田んぼに行き、お手伝いをさせられました。特に、昭和10～20年代にかけての小学校高学年は、春と秋の農繁期には、授業を午前中で切り上げて、午後は家の手伝いをしました。

現代では、農作業も機械化されて、田畑では農作業を手伝う子供の姿をほとんど見ることがありません。したがって、機械の進歩・農業経営や社会情勢の変化により、農家の子供でも、田や畑の作物のことを知らない子供になってしまいました。

また、農家の建築様式や家庭の熱源（昔は、麦から・わら・そだ・薪）の変化等生活様式の変化により、子供たちの生活も大きく変わってきました。

（1）遊び

（昔）男の子

- | | | | |
|----------------|-----------------|------------------|-------------|
| ・ 風揚げ | ・ 独楽回し | ・ 陣取り | ・ 軍艦遊び |
| ・ 鬼ごっこ | ・ 兵隊ごっこ | ・ 虫取り | ・ たが回し（輪回し） |
| ・ 馬乗り | ・ しりけん | ・ 川遊び | ・ 魚取り |
| ・ 水泳ぎ | ・ かっちゃん玉（ビー玉） | | ・ たかまますべり |
| ・ 竹馬 | ・ カルタ | ・ トランプ | ・ すごろく |
| ・ めんこ | ・ メジロ取り | ・ 三角野球 | ・ 木登り |
| ・ お花見 | ・ イナゴ取り | ・ 杉鉄砲 | ・ 針金のこままわし |
| ・ ドッチボール | ・ チャンバラごっこ | ・ 雪合戦 | ・ パチンコ〔注1〕 |
| ・ かくれんぼ | ・ かぎっこ（ミズキの枝相撲） | | ・ 8の字合戦 |
| ・ 針ぶち（針打ち）〔注2〕 | | ・ 釘ぶっとし（釘打ち）〔注3〕 | |

・カルメ（カルメラ）焼き〔注4〕

〔注1〕今でいう、成人対象のパチンコ遊戯ではなく、子供たちが小枝の又を利用し、又の両側に帯ゴムを付け、小石やガラス玉を飛ばして、飛んでいるものや遠くにあるものを狙って遊びました。危険な遊びです。

〔注2〕主に小学校高学年4～5人が、縫針に糸を通して針を口に銜え、皺のない半紙1帖分（年賀）を重ねた上に、糸を持って針を打ちつける。打った針が半紙に突き刺さり、刺さった分の半紙を自分の口の高さまで持ち上げれば、落ちずに持ち上げた分の半紙をいただける。

〔注3〕主に小学生2～3人で、5寸釘を一本ずつ持ち、振りかぶって地面に突き刺し、相手の突き刺す領地を邪魔しながら、自分の領地を拡大していく。

〔注4〕火鉢や囲炉裏に銅で出来た鍋をかけ、赤粗目（あかざらめ）と水を少量入れて煮詰め、沸騰して泡立ったら細いスリコギに重曹をつけて、素早くかき混ぜカルメ焼きを作りあう。

（注）遊び道具は、特別買わないものがほとんどで、身の回りの自然環境物が、皆遊び道具として利用されました。

（昔）女の子

- | | | | |
|-------|---------|--------|----------|
| ・羽根つき | ・石けり | ・あやとり | ・お手玉 |
| ・ゴム飛び | ・着せ変え人形 | ・おはじき | ・数珠玉遊び |
| ・ぬりえ | ・ままごと遊び | ・かくれんぼ | ・はないちもんめ |
| ・手鞠うた | | | |

（2）手伝い

（昔の農家の子供）

ア 農作業の手伝い

- | | | |
|----------------|---------|-----------|
| ・昼飯はこび（おちゅうはん） | ・おやつはこび | ・作物の運搬 |
| ・稲苗の運搬 | ・草むしり | ・薪山の伐採と運搬 |

イ 家事の手伝い

- | | | |
|-------------------|------|-------|
| ・子守 | ・水汲み | ・風呂焚き |
| ・家畜の世話（牛・豚・にわとり等） | | ・掃除 |

2 今の子供の生活

昔の子供は、その家の職業に応じて子供なりにできる仕事を当然のように手伝いとして

手助けをしていました。特に、農家では何をするにも人手を多く必要としますので、猫の手も借りたいほどの農繁期には、小さな子供までも駆り出され、頼りにされていました。ですから、子供はこうした手伝いの前後の時間は寸暇を惜しんで友達と遊んでいました。これがまた、待ちどおしく、何よりもの楽しみで、テレビなどなく一人遊びが出来なかった時代でしたから、年齢を問わず近所の子供と遊ぶことが唯一の遊びであり、楽しみでありました。それ故に、友達を大事にしていました。

しかし、時代が変わると、家の職業も変わり、道具を使っただけの仕事から、機械を使っただけの作業に変わり、また、建築様式が変わり、生活様式が変わるとそれに伴って子供の生活も変わってきました。

昭和20年の敗戦によって荒廃した日本は、諸外国、特に欧米を目指して追いつけ、追い越せの努力によって、政治、経済、文化に目覚ましい発展を遂げてきました。とりわけテレビの普及や交通の発達、都市も地方もなく、その日のうちに情報が伝わり、ブランド製品が出回る時代になりました。

純農村地帯であった土屋も、この新しい文化を導入しながら、都市化への一途をたどりつつあります。

私たちの生活は、新しい建築様式により住宅構造は変わり、電気・ガス製品の普及により、料理、洗濯、掃除、風呂炊きなどの家庭の仕事は、電化・ガス化のお蔭で、主婦の余暇時間が増えました。この時間はテレビ視聴や読書等に当てられ、教養を一層深めるようになりました。また、子供に対する関心も一段と高まりました。

一方、子供の生活は、家庭の電化・ガス化と農作業の機械化により、家での手伝いは減少し、親の教育に対する関心から、子供の高学歴を目指しての勉学、塾・お稽古・スポーツ施設通い等を強られるようになりました。また、遊びでは、テレビゲームなど電気（電池）を使用した遊び道具の多種・多様化により、一人ないし二人遊びに興ずるようになりました。こうした子供の生活の傾向のなかでも、各家庭では、それぞれ内容は違いますが、その家に応じて決められた手伝いをしています。

（１） 生活の一部

- ・お稽古通い（習字・ジャズ体操・ピアノ等）
- ・学習塾通い
- ・スポーツクラブ通い（水泳・テニス・サッカー・野球等）

（２） 家の手伝い

- ・ふろそうじ
- ・買物
- ・戸閉め
- ・鳥のせわ
- ・犬の散歩
- ・そうじ

（３） あそび

- ・サッカー（PK）
- ・ドッチボール（あてっこ）
- ・卓球
- ・ボーリング
- ・バトミントン
- ・羽根つき

- ・バスケットボール
- ・ポートボール
- ・キックベース
- ・バレーボール
- ・野球
- ・テニス
- ・テレビゲーム（ポケットゲーム）
- ・おてだま
- ・おはじき
- ・ハンカチおとし
- ・あやとり
- ・ギュータンゲーム
- ・せんだみつおゲーム
- ・人生ゲーム
- ・トランプゲーム
- ・すごろく
- ・はないちもんめ
- ・鬼ごっこ
- ・缶けり
- ・手つなぎ鬼
- ・しんげんち
- ・じんとり
- ・フルーツバスケット
- ・けいどろ
- ・竹うま
- ・なわとび
- ・石けり
- ・騎馬戦
- ・スケートボード（スケボー）
- ・ラジコンカー
- ・ひみつの基地
- ・ゲームウォッチ
- ・ゲームボーイ
- ・めんこ
- ・ゴムとび
- ・あみで魚とり
- ・〇×ゲーム
- ・あみでセミとり、トンボとり
- ・リール付きつりざお
- ・コックリさん
- ・25（ビンゴ）
- ・マーガレット
- ・ミニカー
- ・鉄道模型
- ・自転車乗り
- ・ボーリング
- ・ローラースケート
- ・マンガ本読み
- ・ゲームセンター

